

会派所属について

公約である「原発問題」「産廃問題」を扱う委員会（それぞれ「原子力発電・エネルギー問題等調査特別委員会」「市民福祉委員会」）の委員に確実にすることができることを優先して会派を組みました。（会派名「希望」：所属議員は、国頭、山川、矢倉 土光）。考え方が異なる事柄に関しては、おおいに議論はするが最終的には個々の考え方を尊重し、会派拘束はしないという申し合わせの元に活動しています。

7 月 議 会

「各個質問」をしました

島根大学で行われた「原発に関する米子市民の意識調査」を元に「島根原発の再稼働をすべきと思っている人は20%に満たない。」「避難計画の実効性を信じている人は数%に満たない」等について市長の見解をたどしました。しかし、何を聞いても「これは、アンケート結果だと思う」と言うのみで、その結果に対する市長の考えは聞くことが出来ませんでした。よく言われる市長の「テープレコーダー答弁」を生で体験しました。



「陳情」討論をしました

本会議最終日、陳情の採決にあたって「島根原発の再稼働に対する慎重な判断を求める陳情」に対して賛成討論をしました。

この陳情内容は、「島根原発の再稼働の判断においては、万が一の事故時において、住民が被曝することのない安全な広域避難実施が担保されることは必要不可欠であり、市民

の安全・安心を確保する視点から、慎重かつ十二分に検討され、判断されることを求める」という当たり前の内容で、討論でもそのことを強調しました。しかし、残念ながら否決されてしまいました（各議員の賛否は4Pの「賛否一覧」をご覧ください）。

9 月 議 会

「各個質問」をしました

※ 淀江町の産業廃棄物処分場建設計画について

これまで、県・事業者は「県外のゴミは持ち込まない」といっていたが、実際は県外で発生したゴミが計画されている産廃処分場に入ってくる仕組みになっていることを米子市に認めさせました。また、これまでの県・事業者の説明は、不適切であったとの見解も引き出すことが出来ました。

「各個質問」とは？

各議員が一問一答式で自由に市長(執行部)に質問することです。

時間は、自分の発言時間の総計が30分まで(答弁の時間は含まれません)。従って、いかに端的な(短い)質問で相手に多くをしゃべらせるか(言質を得る)が重要になります。

※ 中国電力との原発に関する安全協定について

市長も、現在、締結している「安全協定」は不十分なものという認識を以前から表明しているので、どの点がど